



サンディエゴの国際協議会 (GETS) に参加して

ガバナー・エレクト **大谷 透**
(大阪西南RC)

2009年1月18日より1週間に亘り開催されました国際GE研修セミナーに配偶者同伴で参加、世界540名の同期GEと共に、次期RI会長ジョン・ケニー氏の方針に沿い、研修する機会が与えられました。

次年度のテーマ“ロータリーの未来はあなたの手に”は、世界的な不況の影響で減少しつつあるロータリアンを励ます一方、良き友達作りの輪の中でお互いの人格や職業の品位を高めていこうというロータリーの原点に立つ考えと、最近特に強くなってきたロータリーを奉仕団体として世間に認めさせようというRIの考えとが対立している中で、その判断を夫々のロータリアンの手にゆだねた、時宜を得たすばらしいテーマであり、職種と職責を超えてすべてのロータリアンに責任と知恵の共有を求めています。

予告されていなかったビル・ゲイツ氏が突然現われ、更に2億5千万ドルの寄付を申し出たスピーチは感動的でした。しかし、それを受けて更に1億ドルの追加募金で応答したRIの理事会決議が事前になされていた事を

知らされ、その直後の日本DGEの分科会では「RIは、各クラブをベースとして尊重すると民主的な表現はするが、結局はトップ・ダウンの形となり、することも芝居がかっている」と反発意見も多く出ましたが、それにどう対応するかも in your hand と云うことです。

現在ロータリーが直面している諸問題も含め、DGとして心得るべきテーマ毎の基調講演が本会議で行われ、それに続き日本国内34地区のGEが2つに分かれてグループ討論をする研修法は、お互いの温度差を無くすよい手法であり、場所がら世界的な視野に立った議論となり、国際的な連帯感のようなものを強く感じる事が出来ました。

会長招宴の晩餐会、舞踏会、国際祭りの夕べなど、国際的親交を図る楽しい企画もあり、貴重な体験に恵まれ感謝しています。(写真はロータリーの帽子をかぶって出てきたビル・ゲイツ氏と、次年度GSEパートナーのテキサスD5870 Tim Buckley DGE夫妻)

